

2022年
夏号

はやしのはなし

理念

Heartful & Healing Hospital ~ハートフル アンド ヒーリング ホスピタルとして~
私たちは常に優しさと思いやりの心もち、良質で信頼される医療の実践により心から癒される病院であることを目指します。

編集・発行 広報委員会

当院職員より25の応募!

はやしの写真コンテスト2022

テーマは「はやしのいやし」



2021年から行っている職員による写真コンテスト、2022年のテーマは「はやしのいやし」でした。様々な角度から「癒し」を表現しています。まずは受賞作品からご紹介します!



タイトル: 癒される空間

氏名: 江尻 貴代子 (事務部)

副院長(審査員) 塩田 健 副院長

「パーグリーン、いいですね。ヤミが寝んやりにしているのが残念。」



どこから飛ぶのでしょうか?
実は第一病棟診療室の裏にキラッと飛ぶ十センチほどを飛ばした昆虫の音です!
夏はカマキリやセミが鳴きまわります。お楽しみください。



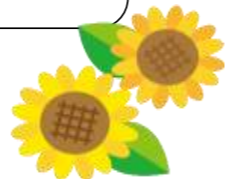
タイトル: 病棟に咲けり🌻

氏名: 横山 静美 (看護部 療養病棟)

副院長(審査員) 福岡 忠博 副院長

またみんなが花摘りに行く日が来ることを祈っています。

どこから飛ぶのでしょうか?
療養病棟のパーメーションにあるパソコンのディスプレイに咲きました! 季節に合わせて変えられるように、早内でも季節が感じられるように。



はやしのスペシャルごはん



当院の調理スタッフが心を込めて作る行事食をご紹介します



7月7日の昼食は、七夕の行事食をご提供いたしました。七夕の日にそうめんを食べるようになった由来には諸説ありますが、そうめんを織姫が使う糸に見立てている説、中国では元々病や魔除けの為に、七夕に日本のそうめんの原型と言われる小麦粉を練って作られた菓子を食べていたという説、そうめんを七夕の季節に輝く大きな天の川に見立てた説…鹿児島では、旧暦の8月7日が七夕とされていますが、二度楽しんで頂くために一般的な7月7日に当院では七夕の行事食を企画いたしましたのでご紹介します。

『そうめんは天の川』『深焼き卵・人参・黄パプリカの星飾り』『きゅうりの輪切り』『長芋・人参・黄パプリカは短冊』『オクラと水菜は笹の葉』をイメージしました。(※全て調理スタッフの手作業です!) その他、揚げ浸し・茶碗蒸しも夏野菜を取り入れた初産を感じさせるメニュー。食後には、スイカを丸ごと使った手作りのゼリーをご用意しました。青りんご・杏仁豆腐・スイカの三層ゼリーにメロンとスイカを丸くくり抜いて、見た目も可愛く爽やかな味に仕上げました。

またお食事を楽しんで頂けるよう「願い事が叶いますように」と思いを込めたメッセージカードも添えました。調理スタッフ・栄養士一丸となって、皆さんに喜んで頂ける姿を思い浮かべながらご用意しました。見た目も色とりどりで、気分が上がる七夕の日を過ごせたのではないのでしょうか?

私たち栄養士は、季節ごとの行事食に加えて、月に1回のお弁当の日を設けております。今後も入院患者様・デイケア利用者様に楽しみにして頂けるような食事作りに励んでまいります。

～みなさまの願い事が叶いますように～ (管理栄養士 窪田)



注意 新型コロナウイルスと脱水症

新型コロナウイルス感染予防対策として、マスクはもろろん欠かせません。しかし、夏の気温の高さの中でのマスク着用は、体の体温に比べて体調不良を引き起こす可能性が高まります。

マスクを着用していると、口腔内は熱がたまりやすく、またマスクを着用している状態では、マスク内の温度が上がっていることで喉の乾きを感じづらくなる傾向があります。高齢の方の場合は更に喉の乾きに気づきづらい状態のため、知らないうちに脱水がすすんでしまい、急重症になってしまったりリスクも高くなります。

感染対策のため「マスクを外してはいけない」という思いもあり、気づかぬうちに水分補給を遅けた結果、脱水症になってしまわないように注意しましょう!



～マスク内にこもる熱対策～

- POINT1. マスクをして激しい運動をしない。
- POINT2. ソーシャルディスタンスを確保し、人が少ない所ではマスクを外す。
- POINT3. 水分補給は小まめに行う。
- POINT4. 身体を冷やす
(冷湿素材のマスク使用もオススメ)



(記事担当 外来スタッフ一司)